

## 2024 年度 個人研究実績・成果報告書

2025 年 4 月 12 日

|            |                                                            |                       |      |                               |      |
|------------|------------------------------------------------------------|-----------------------|------|-------------------------------|------|
| 所属         | 政策情報学部                                                     | 職名                    | 教授   | 氏 名                           | 杉本卓也 |
| 研究課題       | プロジェクト管理とその引継ぎ方策の検討<br>ー自然エネルギー100%大学を目指す学生団体 SONE への関わり方ー |                       |      |                               |      |
| 研究キーワード    | プロジェクト管理、チーム・ビルディング、引継ぎ                                    | 当年度計画に対する達成度          |      | 2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた |      |
| 関連するSDGs項目 | 12. つくる責任 つかう責任                                            | 17. パートナリシップで目標を達成しよう | 該当なし |                               | 該当なし |

## 1. 研究成果の概要

- ・「引継ぎを想定したプロジェクトデザイン」としては、企画から実施、その振り返りのプロセスを年度内で計3回実施することができた。具体的には、2回のフィールドワークと1回の断熱ワークショップである。
- ・フィールドワークについては、前年度（2023 年度）に実施した際と同等のプロセスを踏み、その際に学年進行による担当者の役割の変更を行った。訪問先へのアポイントや質問票の事前準備などを先輩学生の経験を踏まえた進行管理を実施した。フィールドワーク後の報告書についても、書式（構成や表、写真配置等）を統一することにより、引継ぎ指導の効率化を行った。
- ・断熱ワークショップについては、2022 年度、2023 年度に続き3回目の実施であったため、前回・前々回のプロセスを踏襲することで進行管理を滞りなく実施した。施工場所が教室ではなく学生談話室（2号館2階）であることが新しい試みであった。こちらの報告書の書式もフィールドワークと同等とすることで、報告書作成の作業を効率化するとともに、次年度の活動時にも参考資料とすることができ得る。なお、学生談話室の断熱施工は3月7日～8日に完了しているものの、断熱施工による効果や熱交換換気扇の仕組みといった周知パネルの準備は、現在も進行中である。
- ・市川市との包括協定の枠組みの中で、小学生とその保護者を対象とした地球温暖化に関する環境講座を学内で実施した（2025 年 3 月 22 日）。環境講座の準備にあたって、市川市環境部環境整備課の担当者とのやり取りや、講座内容や本学の自然エネルギー100%大学の取り組みを分かりやすく伝えるためのスライド作成の工夫など、学生がアウトプットする機会を設けることができた。この活動は以前より継続しているものであるが、今年度については大学1年生を講師役として環境講座の一端を担わせることで、次年度以降の実施を想定した準備をさせることができた。
- ・環境科学会（2024 年会）において企画シンポジウムを開催し、本学の自然エネルギー100%大学の取組と活動の報告をするとともに、その際に学生登壇による学生団体 SONE の活動報告を行った。

## 2. 著書・論文・学会発表等

（できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

【論文（査読あり）】

【著書・論文（査読なし）】

- ・叢書「SDGs と大学 4 自然エネルギー100%大学」（2025 年 3 月）における 3 章「学生の取組みと教育的意義」の執筆

【学会発表等】

- ・杉本卓也・手嶋進（2024）「自治体との包括協定における環境講座の企画運営—千葉商科大学における正課講義と課外活動を活用した多様な学び—」，環境科学会 2024 年会講演要旨集，p.209-210

3. 主な経費

- ・上記研究の遂行、および研究成果発表にかかる費用として個人研究費を使用した。

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

【企業との共同研究】

- ・シンジェンタジャパン株式会社、「ゴルフ場における CO<sub>2</sub> 排出・吸収調査」（2024 年 9 月～2025 年 12 月）  
※2022 年 10 月より継続

【その他、外部委員会】

- ・鎌ヶ谷市環境審議会（副会長）
- ・市川市環境審議会
- ・市原市行財政改革推進委員会

（本文は 2 ページ以内 にまとめること）